全体的な計画・指導計画と保育所保育指針の「内容」の対応付け表の作成について

図1は乳児保育に関する対応付け表の例である。左に並んでいる項目は、生駒市立幼稚園・保育園・こども園教育・保育カリキュラム(生駒市教育委員会、生駒市教育部幼保こども園課作成。通称、園統一カリキュラム)の0歳児の年間計画の「内容」から取っている。一番上の行にある「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものと関わり感性が育つ」は、保育所保育指針「第2章 保育の内容 1 乳児保育に関わるねらい及び内容」の3つの視点である。その下の①~⑤の数字は、「(2)ねらい及び内容(イ)内容」の番号である。例えば、「健やかに伸び伸びと育つ」の①は「保育士等の愛情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活する」という事項を指している。

4~5か月の一番上の「やさしく声をかけてもらいながら、ゆったりとした雰囲気の中で、ミルクを十分に飲む。」という項目は、○が9個ついている。この○の意味は、「やさしく声をかけてもらいながら、ゆったりとした雰囲気の中で、ミルクを十分に飲む。」という経験する際に、子どもは保育所保育指針の「保育士等の愛情豊かな受容の下で、生理的・心理的欲求を満たし、心地よく生活する」という事項を含めて9の内容を経験するように計画しているということである。

期	内容	健やかに伸び伸びと育つ					身近な人と気持ちが通じ合う					身近なものと関わり感性が育つ				
		(n)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	<ul><li>・やさしく声をかけてもらいながら、ゆったりとした雰囲気の中で、ミルクを 十分に飲む。</li></ul>	0		0			0	0	0	0	0	0	0			
4~5か月	<ul><li>・立位で抱かれたり、腹ばいなどに体位をかえてもらったりして、手足など を盛んに動かして遊ぶ。</li></ul>							,								
	・身近な人と親しみ、関わりを深め、愛情や信頼感が芽生える。															
	・温かく、受容的な関わりを通じて、自分を肯定する気持ちが芽生える。						t t								11	
	<ul><li>声をかけると人の顔を見つめたり、動くものを追視したりする。</li></ul>															Г
	<ul><li>・音の鳴る玩具で遊んでもらうと、音のする方を向いたり、玩具を手に持つと口に入れたりする。</li></ul>							j								
	<ul><li>・個人差に応じて授乳を行い、難乳を進めていく中で、様々な食品に少しずつ慣れ、食べることを楽しむ。</li></ul>															Г
6	<ul><li>一人一人の生活のリズムに応じて、安全な環境の下で十分に睡眠をとる。</li></ul>										33. 30					
1	<ul><li>人見知りが始まり後追いをするなど、親しい大人に愛着を示す。</li></ul>															
8	・暗語に込めた気持ちを受け止めてもらえた心地よさを感じる。						ĵ.				- C				] ]	
Я	<ul><li>生活や遊びの中で様々なものに触れ、音、形、色、手触りなどに気付</li></ul>															Г

図1. 乳児保育に関する対応付け表の例

1歳児と2歳児に関する対応付け表を作る際は、期や内容を自園の年間計画から取り、 一番上の行に「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域を示し、その下に 「(2)ねらい及び内容 (1) 内容」の番号に合わせて、①~⑦または⑥の数字を書くこと。

全体的な計画・指導計画と保育所保育指針の「内容」の対応付け表の提出に当たっては、 自園の全体的な計画や指導計画を左に入れて対応付けをする。乳児保育については、各事項を縦に見て○が1つ以上付いていることが望ましい。1歳児と2歳児の保育については、 2年間で、各事項を縦に見て○が1つ以上付いていることが望ましい。それが保育所保育 指針で求められている経験を保証することになるからである。